

身近な公民館を「知恵と創造を生み出す交流の場」へ

～ほなみふれあいスポーツクラブ(山形県山形市)

1. 地域のグラウンドを自分達で整備

平成16年、山形市金井地区に体育指導委員や地区内の有志の方々を中心に「スポーツクラブ設立を考える有志の会」が組織されました。

設立に向けた第一歩として須川河川敷にグラウンドを整備し、事務局は公民館を利用して、地区の皆さんの総合型クラブ創設への夢は大きく動き始めました。

地区住民による河川敷の草刈、土運搬、地ならしからグラウンド整備へと多くの方の協力を得て河川敷グラウンドが完成し、「桜づつみ多目的広場」と命名されました。

完成記念事業として「金井地区親善ソフトボール大会」を開催、以後の日体協育成指定クラブとなるクラブ設立に向けた大きな起爆剤となりました。

完成したグラウンドでソフトボール



地区民有志の方による河川敷グラウンド整備



2. 事務局は公民館を活用(ふれあいや交流の場)

公民館は地区住民の最も集まりやすい「ふれあいの場、交流の場」です。

自分達で整備したグラウンドで汗を流した後、公民館の一室に集まり、どのようなクラブにするか、どんな事業を計画するか、会費を含めた財源はどうしたらよいかなどと、公民館は地区住民のクラブハウスとも言うべき「知恵と創造を生み出す交流の場」となりました。

3. 公益性のある存在として公民館を使用

公民館長さんや町内会連合会長さんの働き、そしてグラウンド整備等を通してクラブの地域に果たす公益性等への理解が相俟って、公民館をクラブとしても使用できるようになりました。

現段階では、このようなクラブに対する地区の皆さんの力強い支援や理解があり、公民館利用に関する他団体との調整も比較的スムーズに実施されています。



公民館を利用したフラダンス教室

4. 今後に向けて

総合型クラブが果たす地域への公益性が理解され、設立2年目より町内会の事務員にクラブ会計処理の一部を依頼しています。今後は、常駐の事務局員を公民館に配置できるようにしていくことが課題です。

併せて、公民館指定管理者の地域委託が話題となっています。

公民館の他の利用団体との連携、協力を密にしながら、公民館活動全体を通じた地域活性化策の一部として一層認められる存在になるよう、役員の方々を中心にクラブ一体となって努力しています。

(阿部浩三郎 ほなみふれあいスポーツクラブ事務局長)

【ほなみふれあいスポーツクラブ・プロフィール】

1. 設立

年月日：平成19年2月18日

母体：金井地区体育振興会 体育指導委員

経緯：平成16年、地区内の有志の方々を中心に「スポーツクラブ設立を考える有志の会」を組織、須川河川敷グラウンド作りからクラブづくりが始まりました。

2. 地域

地区人口：12,300人

地域特性：小学校、中学校が単一学区で教育や地域活動に熱心な地区であり、従来からのスポーツ少年団や既存のスポーツサークルも数多く、相互の連携を密にしながら、仲良く活動しています。

3. クラブ

会員数：160名

年間予算：約210万円（会費収入約200万円、町内会連合会助成金10万円）

クラブの特性：平成21年度「文部科学省委託事業で総合型地域スポーツクラブを核とした活力ある地域づくり推進事業」で女性のためのスポーツ教室を充実中、新たな地域の人材発掘を推進しております。

4. 連絡先・住所

〒990-0864 山形市陣場 903 番地 金井公民館内 TEL 023-684-5900